



▲ 留学生らに囲まれて出牛氏(後列左)の自宅で鍋パーティー。尾野輝男さん(平9院経営修=右手前から4人目)提供=1997年冬



▲ 出牛氏の最終講義=2004年9月28日生田キャンパスで。出牛氏(中央)の左が田口教授。左端が李准教授

他の人がやらないことに常に挑戦してやり遂げられた

出牛先生の訃報に接したのは、ゼミの合宿に出かける直前でした。この春には闘病生活から解放されることを信じていただけに、本当に残念でなりません。

先生は、経営学部でマーケティングを中心に講義され、1980年から経営学部長を10年の長きにわたって務められました。その後、1998年から2004年まで学長、さ

らに03年からは理事長という激務を兼務され、06年から09年までは顧問として専修大学の発展に多大な貢献をなさいました。

学部長を5期続投、さらに教員から理事長に選出され、また学長と理事長を兼務されるなど、当時としては異例なことであり、これも出牛先生のお人柄やご仁徳を物語っています。

教職員の多くは、ウィスキーをオン・ザ・ロックで飲むのがお好きで、周囲の意見をよくお聞きになり、行動力のある先生という印象を持っておられるのではと思います。

学部や部署を超えて、多くの大学人が、ことあるごとに先生にさまざまな相談事を持ち込み、助言を受けていました。

Economists In Business)講座を立ち上げ、今ではキャリア教育にバトンタッチされた感がありますが、発足時は学生部がそのベースとなりました。

また国際交流の初代センター長として、本学の留学生教育や国際交流の発展の礎を創られたといえます。

出牛先生のご指導を受ける幸運に恵まれました。私の知る先生は、常に他の人がやらないことに挑戦、それをやり遂げる人という印象を持っていました。そして、いつも学生の自主性を尊重し、発表や論文執筆、ときには研究上の悩みに長時間、根気よくお付き合いくださり、理想的な研究環境を与えてくださいました。

私が大学院に進学して研究を続けたいと研究室に伺ったとき、時

代の変化に敏感であること、人のやらないオリジナルな研究をすること、最後まで根気よく挑戦し続けることを教えていただきました。

私が大学院に進学して研究を続けたいと研究室に伺ったとき、時

よく考えさせ、徹底的に勉強の面白さを自主的に発見させる動機づけを心がけておられたように思います。教員として教壇に立つときには、常に自分のレベルではなく、学生の目線で学生にわかる言葉で話すことを助言してくださいました。

今、私もその伝道者になって学生たちに接し続けたいと考えています。出牛先生のこれまでのご指導に感謝し、ご冥福を心からお祈りいたします。

専修大学経営学部教授 田口冬樹(昭51院経営博)

出牛正芳先生を悼む

2月23日に84歳で逝去された出牛正芳前理事長・元学長の追悼文を、故人の「教子」であったお二人からいただいた。

ご闘病中の震災直後忘れられない「大丈夫か」の一声

3月10日、教員室の掲示で出牛先生のご逝去を知り、ショックと驚きでその場で立ち尽くしてしまいました。

昨年9月、フランスでの長期在外研究を終えて帰国した際、すぐに先生の所に伺えなかったことを後悔して自責の念に駆られました。そして、東日本震災の5日後、先生が闘病中であつたにもかかわらず必死の声で「李君大丈夫か。げがはな

いか」と、私を案じてくださったことを思いながら研究室でひっそりと泣きました。いま思えば、私がマーケティングの研究を志して

23年前、軍隊を解散して翌年の3月に入学した金山経商(フサンギョンスン)大学で初めてマーケティングに接してから、もっと詳しく勉強したいという願望でソウルにある大

学への編入や留学などを調べていた時、姉の友人から専修大学に有名な先生がいると紹介されたのがきっかけであります。

そして、先生が留学生のために新設したアカデミックアドバイザー制度のお陰で私の指導教官である田口冬樹先生とも出会い、出牛先生の孫弟子となって先生には随分可愛がられました。

でも厳格な先生で、博士後期課程の頃、院生一人一人の研究発表に対して一言一句を問いつけながら研究における諸問題の主な原因は何かを徹底的に追究する姿勢を厳しく教えてくださいました。

時には、あまりにも厳しいご指摘で、私は研究者に向いていないのではないかと思悩

み、眠れない日々が続いた時期もありました。それも私が研究者として自立するためのご指導であつたということが後に分かり、万感胸に迫つたことを覚えています。

また、就職が決まらず悩んでいた時は「李君、すぐ結果が出ないからといって、自分の目標を失うな」と叱咤激励とともに、学長・理事長としてお忙しい公務の中でも、必ず毎週1回は研究会を開いてくださいました。お陰様で、無事に石巻専

修大学に准教授として赴任が決まった時は人一倍喜んでいただき、「李君、これから何が一番、学生のためになるかマーケティングしなさい」とおっしゃいながら笑う先生のお顔が目につかびます。

その日のことを思い返すと、先生は消費者が抱えている不安、不満などの諸問題を的確にとらえ、いかに解決しようと取り組む真のマーケティングが、教育指導においても重要であると、私に気付かせようとしたのではな

いでしょうか。出牛先生には、時には親もおよばぬほど親身にご指導、ご支援いただきました。ご恩返しはこれからという時に先生を失つたことは、本当に口惜しく残念であります。今後は、先生からいただいた教訓を教育と研究に活かしていくことが、ご恩に報いる道と思つて、頑張る覚悟であります。

先生、今までありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

石巻専修大学経営学部准教授

李東勳(平18院経営博)

確実にやるのはどこでもできる。確実に速くやるからこそ「価値」になる。

三井住友銀行

LEAD THE VALUE
三井住友フィナンシャルグループ
SMFG

MIZUHO

みずほ銀行

One MIZUHO

あなただけの資産運用を「みずほ」がバックアップ。

豊富なラインアップで、お客さまの資産運用ニーズに、「みずほ」はおこたえします。

●ご相談は、お近くのみずほ銀行へ。

One MIZUHO